

図書館

☎45・6222

http://www.town.ikeda.gifu.jp/library/

開館●火～金 9:30～18:30

土・日・祝日 9:30～17:00

休館●月曜日◆資料整理日◆祝日または資料整理日が月曜と重なる場合は、その翌日◆特別整理期間

入園、入学、新社会人になられる方、おめでとうございます

この春から新しい生活が始まり、期待に胸を弾ませていることでしょう。今までとは違った環境の中で覚えなくてはならないことがたくさんあり、戸惑うことがあるかもしれません。図書館では、マナーや、人間関係、仕事、勉強など、いろいろなジャンルの本をたくさん用意しています。きっと悩みを解決してくれる本が、見つかると思います。ぜひ、ご利用ください。

今月のお話の会

4月1日(土)・8日(土)・15日(土)・22日(土)・29日(土) 午前10時30分～

図書館おはなし室にて、親子で紙芝居や絵本の読みきかせを聞き、読書との関わりを作ってみてはいかがでしょうか。

こどもの読書週間

「小さな本の大きなせかい」

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。お子さん、お孫さんと一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか？図書館では、たくさんの絵本・児童書があります。すてきな本に出会えるかもしれません。



新着図書紹介

一般書



「そのイタズラは子どもが伸びるサインです」

伊藤美佳著／青春出版社

夢になれるおもちゃに出会うと、子どもは、能力をどんどん引き出します。手指を使う道具を使った遊びと実践のコツを教えます。子どものイタズラには、能力を伸ばすチャンスが隠れています。

「毎日っていいな」

吉本ばなな著／毎日新聞出版

たとえめだかの卵を素手で採取することであっても、この歳になって、新しくなにかを取得できるなんて、なんてすばらしいことだろう。読むほどに日々が愛おしくなる50のエッセーを収録。

「何ががう？どうちがう？似ている日本語」

佐々木瑞枝著／東京堂出版

「あがる」と「のぼる」、「不在」と「留守」など似ている日本語のビミョーなニュアンスを教えます。日本人が意外と知らない似ていることばの使い分けを、日本語教育の第一人者である著者が解説します。

「春夏秋冬、ぎゅっと詰めて旬弁当」

中川たま著／日本文芸社

栄養豊富な旬の素材をお弁当に。作りおきできる「旬のおかずの素」と、それを使ったお弁当のおかず・ごはんものを紹介します。行楽や持ち寄りにおすすめの「イベント弁当」等も掲載。

「バラ色の未来」

真山仁著／光文社

ホームレスは、首相官邸にプラスチックのコインを投げつけていた。そのホームレスは、総理のIR指南役と呼ばれた元名物町長だった。誘致失敗の裏に何があったのか、新聞社の結城洋子は徹底的に追及しようとするが・・・。

児童書・絵本



「包丁を使わないで作るごはん」

寺西恵里子著／日東書院本社

冷凍バナナのスムージー、ミートソースパゲティなど、包丁を使わないで作れるおいしくてカンタンな料理を紹介。作り方をわかりやすい写真で解説します。

文芸書



「失われた地図」

恩田陸著／KADOKAWA

日本各地の旧軍都に発生する「裂け目」。かつてそこに生きた人々の記憶が形を成し、現代に蘇る。記憶の化身たちと戦う男女、遼平と鮎観。彼らが息子を授かったことから運命の歯車が狂い始める。

「おもちゃのかたづけできるかな」

深見春夫さく・え、梶ヶ谷陽子かんしゅう／岩崎書店

お母さんにおもちゃをかたづけなさいと言われたひろきくんは、おもちゃばこにおもちゃを放りこみ、はこの中はゴチャゴチャです。子どもと楽しくかたづけるコツを紹介。

「あからん」

西村繁男作／福音館書店

あんぜんちたいで、あさのあいさつ。「あ」から「ん」まで、それぞれの文字をテーマに絵と文をかけた絵本。本の中に描かれた、それぞれの文字からはじまることばをさがしてみよう。

「ついに、きた？」

群ようこ著／幻冬舎

父の死後、年下の男に奔ったサチの母。70歳で男に捨てられ戻ってきたけど、どうも様子がおかしい。シリアスなテーマを明るく綴る。

休館日は町民カレンダーをご覧ください。